

## 立木ニ關スル法律案特別委員會議事速記錄第二號

明治四十二年三月十九日(金曜日)午後一時四十七分開會  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 是ヨリ前會ニ續キマシテ委員會ヲ開キマス

○谷森眞男君 今日ハモウ質問ハ濟ミマシテ、多分討議ノ時ト考ヘマスガ、ソレデ宜シ

ウゴザイマスカ  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、昨日逐條ノ質問ガゴザイマシタノデ、大概質問が濟シマスガ、何カ御質問ガゴザイマスレバ、ナスツテ宜カラウト思ヒマスガ、ゴザイマセヌケレバ討議ニ移ラウト思ヒマス

○藤田四郎君 ゴザイマセヌ

○谷森眞男君 ソレデハ此第一條ニ付キマシテ少シ修正ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ「土地」ノ一部分ニ造林ノ目的ヲ以テ生立セシム樹木ノ集團ト云フコトハ餘ホド天然林ニ手ヲ入レタモ

是ハ先達テ質問フ致シマシタ時分ニモ、造林ト云フコトハ餘ホド天然林ニ手ヲ入レタモノモ這入ルト云フコトデアリマシテ大ニ範圍ガ廣クナリマス、今日此法律ノ必要ハ重モニ人造林ニ依シテ必要ガ起シテ居ルノアリマスカラ、先づ當分ハ此人造林ノコトガ宜カラウト考ヘマス、クレ故ニ此「造林」ト云フ字デハ少シ其所ガハッキリ致シマセヌカラ「土地」ノ一部分ニ植栽ニ依リテ生立セシメタル樹木ノ集團ニシテ」ト、斯様ニ修正イタシタイト思ヒマス

○男爵武井守正君 チヨット谷森サンニ伺ヒマス、造林ヲ植林ト變ヘル譯ニハイカヌデセウカ

○谷森眞男君 ソレデハ少シハッキリセヌカト思ヒマス、ドウモ植林ト云フダケデハ、植林ノ目的以テ云フコトニナルト少シハッキリ致シマセヌカラ「層」植栽ニ依リテ成立セシメタル」トハッキリ人工作林ノコトニ致シタイト思ヒマス

○男爵武井守正君 谷森サンノ修正ノ意味ニ於テハ贊成デアリマス

○藤田四郎君 私モ其意味ニ於キマシテハ贊成デゴザイマス、詰リ今日必要ノアリマスルノハ人工植栽ニアリマス、色ミト松林ナドア藩政時代ニ多少造林シタモノモアリマセウガ、事實今日ニ於テハ差支ナイヤウデゴザイマス其必要ヲ認メラレタトキニ之ヲ廣ク又改

正セラルヘトシテ今日ハ必要ノ部分ダケニシタ方が宜イト思ヒマスカラ谷森君ノ御修正ノ趣意ニ贊成イタシマス、文字ノ所ハ詰リ人工植栽ト云フ意味デゴザイマシテ、植栽ダケ

テ通ジヤウト思ヒマスカラ大體贊成イタシマス、尙ホ政府委員ノ御方ニ於テ其意味デモウ少シ好イ文字ガアリマスナラバ、ソレハ異論アリマセヌ

○岡野敬次郎君 私モ修正ノ趣意ニ贊成デアリマス、唯文字ノコトハ植栽ト云フ文字ハ森林ニ關スル法規ニ隨分澤山用井テ居ルヤウニ思フ、植樹ト云フ文字モ用井テ居ル併ナガラ茲ニ樹木ト云フ文字ヲ用ウノハ甚ダ適當デナイヤウデアリマスカラ、植栽ト云フ文字ガアリ又植樹ト云フ文字ヲ用ウノハ甚ダ適當デナイヤ

ニ用井ラレテ居ル場合ガ澤山アリマセウガ、ドチラガ慣例上ノ文字ニナシテ居ルカ、其適當ノ方ニ私ハ贊成ヲシタイト思ヒマス

○子爵松平親信君 私ハ谷森サンノ御提出ニナリマシタ御趣意ニ贊成イタシマシテ此修正ヲ希望イタシマス

○政府委員(上山満之進君) 御修正ニ付キマシテ政府ノ意見ヲ申上ゲマス、當初ノ目的ハ毎々申上ゲマス通り松林ヲ主トシテ人手ノ及バナイ天然樹ニ依シテ出來タ山ニ

ト司法省ノ案ニハ植林ヲ目的トスルトゴザイマシタ、其植林ト云フ文字ハ矢張り造林ト云フ文字ト煎シ詰メレバ、意味ハ同シニナル、ソレナラ造林ノ方ガ一層普通使シテ居ルモ

トダラウト云フコトデ同ジ意味デアルケレドモ普通使シテ居ルカラト云フノテ「殖」ノ字ヲ「造」ノ字ニ改メタ次第ゴザイマス、矢張リ唯今ノ谷森サン其他御贊成ノ皆サンノ御意見ノヤウニ人手デ植エタ山ニ限ラウト云フコトデゴザイマスレバ、人工植栽ナラ尙ホハッキリ致シマスガ、「人工」ト云フ字が妙ナラヌト云フコトデゴザイマスレバ、「植栽」ト云フコトニ致シマスレバ極ク明ニナルト考ヘテ居リマス

○藤田四郎君 政府モ別ニ文字ニ付イテ御名案モ御提出クダサラヌヤウデゴザイマシテ、文字モ「植栽」ト云フ字ニ御贊成アレバ植エタ方ノ意味、人工ノ意味ヲ含ンデ居ルヤウニ思ヒマスカラ、他日良イ修正案が出レバ變ヘマスガ、谷森サンノ御修正案ニ文句モ已ムラ得ズ贊成イタシマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 他ニ御異論ゴザイマセヌカ  
〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 他ニ御異論ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 他ニ御意見モゴザイマセネバ、アトハ逐條ニシテヤリマセウカ、如何デス

○藤田四郎君 一條ダケモウ一つ願ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ第二條ヲ……

○富井政章君 私ハ第三項ヲ削除シタイト考ヘマス、是ハタダ有ツテモ無クテモ同ジコアリマスガ、無イ方ガ穩當アラウト思フノデ、斯ノ如キ規定ヲ置カレタ趣意ハ立木ト云モノハ既ニ別箇ニ不動産ト視テ別箇ニ處分スルコトヲ許シタ以上ハ何處マテモ其主義ヲ貫セネバナラヌト云フコトデ斯ノ如ク極端ニマテ考ガ馳セヌデアラウト思フノアリマス、若シ斯ウ云フ規定が必要アルトスレバ矢張リ民法ニモ土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ效力ハ建物ニ及ハズト云フ規定が要ル譯デアル、建物ト立木ハ同ジコトデアル、立木ハ詰リ此法律ニ依シテ現行法ニ於ケル建物ト同ジモノニナルノアラウト思フ、然

ルニサウ云フ 規定ハ 民法ニ無イ、又有シテモ 宜シクナイト思フノデアリマス、建物ハ所マデモ 土地ノ定著物デアルト云フ性質ハ失ハナイノデアリマス、建物ニセヨ立木ニセヨ  
之ヲ別箇ノ不動產ト視ルト云フノハ詰リ別々ニ之ヲ讓渡シ或ハ擔保權ノ目的ト爲ス  
ト云フコトニスル爲デアッテ、絕對的ニ別物ニナルト云フコトデハ決シテナイト思フノデアリ  
マス、立木ノ付イタ土地ヲ有シテ居る者が、其土地ヲ賣シタト云フ場合ニハ、土地ト共ニ  
立木ヲモ賣シタノデアルカ、又ハ土地ノミヲ賣シタノデアルカト云フコトハ是ハ全ク契約ノ  
解釋ニ屬スルコトデアッテ、立木ニ及バズト云フヤウナコトハ、多クノ場合ニ於テ當事者ノ  
意思ニ反スルコトニナルデアラウト思ヒマス、ドチラノ場合ガ多イカ、私ハ分リマセヌガ、私  
ノ考フル所デハ、當事者ノ意思ハ寧ロ土地ト共ニ立木ヲモ賣買スルト云フ意思ヲ有スル  
場合ノ方ガ多イデアラウト思ヒマス、ト云フモノハ定著物ト云フ性質ヲ依然有シテ居ルノ  
デアリマス、決シテ土地ノ賣買トカ、立木ノ賣買トカ一ツノ場合ガ成立スルト云フノデハ  
決シテナイト思フノデアリマス、建物ノ付イテ居ル土地ヲ賣ルト云フ場合モ其通りデアリ  
マス、斯ノ如キ規定ヲ置ク必要ノナイ上ニ大ニ誤解ヲ生ズルデアラウト思フノデアリマス、  
地上權ヲ賣シタ場合ニ立木モ附イテ行カナイト云フヤウナコトハ殆ド百ニ一ツ無カラウト  
思フノデアリマス、餘ホド稀ナ場合ヲ想像スレバアルカモ知レマセヌガ、普通ハ 地上權ヲ  
賣ルト云ヘバ立木モ共ニ賣ル 意思デアラウト思フノデアリマス、サウデナイト思フノデアリマス、  
云フ理論上ノ觀念カラ來タコトデアッテ、最モ實際ニ適シテ居ラナイト思フノデアリマス、  
建物ニ關スル民法ノ組織トモ權衡ヲ失フコトニナラウト思ヒマス、又ハ以下ノ「地上權ノ  
處分」云々ニ至シテハ是ハ如何ニモ一個獨立ノ不動產ト看做スト云フ主義ヲ貫キタイト  
ト云フアッテ、誠ニ想像モ出來ナイヤウナ關係ニナルデアラウト思ヒマス、ソレカラ地上權ヲ  
買上ゲタ者モ唯地上權ヲ有シテ居ル、其乙が地上權ヲ丙ニ賣ル、斯ウ云フ場合ニ立木が  
付イテ行カナイトスレバ乙ハ立木ノ所有權ヲ有シテ居ルト云フタ所デ踏臺が無イヤウナモ  
ノデアッテ、誠ニ想像モ出來ナイヤウナ關係ニナルデアラウト思ヒマス、サウデナイト思フノデアリマス、  
本が塞ガシテ居ル、ソンナ地上權ハ何モ役ニ立タヌ、ソレデアリマスカラ地上權ヲ買上ゲタ  
方カラ言ウテモ唯空ナ地上權ヲ買フト云フ意思ヲ有スルヤウナコトハ殆ド想像モ出來ナ  
イホド稀ナ事實デアラウト思ヒマス、要スルニ極メテ少ナイト場合ニハ茲ニ書イテアルヤウナ  
コトニナルデハアリマセウケレドモ、問題が詰リ意思ノ解釋ニ屬スル問題デアッテ、斯ノ如キ  
コトヲ法律ニ極メルト云フコトハ甚ダ穩當デナイト思ヒマスカラ、寧ロ此一項ハ削除ニナッ  
タ方ガ宜カラウト思ヒマス、ドウグ御賛成ヲ願ヒマス  
○岡野敬次郎君 私ハ此唯今ノ第三項ノ削除意見デ、若シ此立案ノ趣意ニ於テ、  
法律ノ趣意ニ於テ一致シテ居ルノデアルノナラバ、之ヲ削除シタルノ結果ハ右ナラ右、左  
ナラ左ト云フコトニ一致スルノデアリマスルカラ、必シモ私ハ之ヲ存セバナラヌト云フ必要  
ヲ認メナインデアリマス、併ナガラ之ヲ存ズルト之ヲ削ルトニ依シテ、之ヲ削シタニシテモ其  
削シタ後ハ法律ノ解釋ガニ様ニ分レルト云フコトガアッテハ甚ダ削除ノ趣意ニ適ハヌヤウ  
ニ思フノデアリマス、唯今ノ富井君ノ削除ノ御意見中ニ付イテ私ノ多少疑シテ居ル點モ  
アルノデアリマスルカラ、御参考マニ私ノ思フ所述ベテ見タイト思フノデアリマス、最  
後ニ御述ベニナリマシタ此地上權ノ處分ノ效力ハ立木ニ及バズ、地上權ダケハ處分セラ  
レテ立木が處分セラレズニ居ルト云フコトハ是ハ極メテ稀ナ場合デアルト云フコトハ、是ハ

ノガ別々ニ處分セラル、ト云フ場合ヲ想像スルト、唯立木ノ無所ノ地上權ト云フモノニハ相  
伴フヤウニシタ方ガ宜クアルマイカト云フコトハ、私ノ前會ニ述ベタヤウナ考デアリマスカラ、  
其御趣意ニハ敢テ私ハ反對セヌノデアリマス、併ナガラ其問題ハ第二項ノ問題ニアラズ  
シテ寧ロ第六條ニ屬スル所ノ問題デアリマスルガ、若シ地上權ト、ソレカラ立木ト云フモ  
ノガ別々ニ處分セラル、ト云フ場合ヲ想像スルト、唯立木ノ無所ノ地上權ハ空ノヤウ  
ナ權利デアル、立木ハ其所有者ハ何ノ爲ニ地上權ナシニ有ジテ居ルカ趣意ガ分ラヌト云フ  
御議論ハ、即チ其御議論ニ依ツテ之ヲ削レタト云フ所ノ私ハ理由ニ乏シヤウニ思フ  
ノデアリマス、ソレカラ其處分ト云フコトハ必シモ賣買ト云フコトニ無論限ラレタコトデハ  
ナカラウ、若シ地上權ナラ地上權ト云フモノガ獨立ノ處分ヲセラレタ場合ニ其地上權が  
或ハ競賣ニ付セラル、トカ、其他民事訴訟法ニ依ル所ノ處分ニアック場合ニ於テハ、矢  
張リ第一條ノ三項ノ規定が動クノデアツテ唯賣買トカ、或ハ當事者ノ契約關係ノミヲ  
以テ此處分ト云フ文字ヲ解釋スルコトハ出來マイト思フ、既ニ獨立ノ處分ガ認メラル、  
以上ハ、ドウモ矢張リ斯ノ如クシテ置イタ方が事柄ヲ明瞭ニスル上ニ於テ宜ガラウカト思  
フ、又既ニ獨立ノ處分ヲスルト云フコトヲ原則トシテ認ムル以上ハ地上權ニ付イテハ地上  
權ノ處分ヲシマセウ、又地上權ノ處分ニ付イテ不動產登記法ニ依ツテ登記ヲスルノデア  
ル、立木ノ處分ニ付イテハ矢張リ立木登記簿ニ登記ヲスルノデアル、登記所ニ在ヅテモ  
矢張リ是ハ地上權が處分セラレタノデアル、或ハ地上權立木共ニ處分セラレタノデア  
ル、或ハ立木ダケガ處分セラレタノデアルト云フコトハ是ハ明ナル證據ヲ得テ、之ニ依ツテ  
始メテ私ハ登記が出來ルモノデアラウト思ヒマス、若シ單ニ當事者ノ意思解釋ト云フコ  
トニ富井君ノ言ハレマシタヤウニナリマスト、地上權ダケノ處分ヲシタ、或ハ土地ノ所有  
權ダケノ處分ヲシテ、果シテ其立木ヲ處分スル意思デアツカドウカト云フコトが明確デナ  
イ場合が必ズ私ハ起テ來ルデアラウト思ヒマス、其明確デナイト云フ場合ニ於テハ立木  
ノ登記簿ノ登記ト云フコトが色ニ争ヒノ問題ナツテ、登記ヲ爲シ而カモ此第二者ニ對ス  
ル權利、當事者ノ權利ヲ確實ニスルト云フ上ニ於テハ甚ダ不便ヲ來タスデアラウト私ハ  
信ズルノデアリマス而シテ之ヲ削ヅタ結果ハ解釋上ドウナルカト言ヒマスト、矢張リ私ハ土  
地ノ所有權ヲ處分シテモ立木ニ及バヌ、地上權ヲ處分シテモ立木ニ及バヌト云フコトノ解  
釋ニナラウト思フ、此點ニ於テハ丁度富井君トハ反對ニナル、富井君ハ之ヲ削レバ當事  
者ノ意思ノ解釋ニ依ツテ地上權ヲ處分シ所有權ヲ處分シ立木ニ及ブト云フコトデアルヤ  
ウアル、既ニ別個ノ不動產アルト云フ原則ヲ取ツタ以上ハ、ドウシテモ私ハ別々ニナル  
デアラウト思フ、更ニ實際ノ利害トシテ考ヘテ見マシタ所ガ、元來此法律ニ依ツテ謂ハユル  
樹木ノ集團ヲ登記スル以上ハ其立木ダケノ處分ヲスルト云フコトハ主ナル目的デアル、或  
ハ土地ト立木トヲ合セテシテ賣渡ストカ云フ場合デアルナラバ、此法律ノ恩恵ニ依ラヌデ  
意思ヲ明確ニ表示シタノデアルカラ、此場合ニ於テハ土地ハ土地、立木ハ立木ト云フ別  
ノ運命ニ從ハセント云フコトが立法ノ精神ニ適ツテ居ル、實際ノ利害カラ言ツテモ私ハ其  
君ノ言フヤウナ結果ニナル、既ニ登記ヲ爲ス以上ハ土地ト共ニ處分セヌト云フ獨立シタ  
ノガ別々ニ處分セラル、ト云フ場合ヲ想像スルト、唯立木ノ無所ノ地上權ト云フモノニハ相  
伴フヤウニシタ方ガ宜クアルマイカト云フコトハ、私ノ前會ニ述ベタヤウナ考デアリマスカラ、  
其御趣意ニハ敢テ私ハ反對セヌノデアリマス、併ナガラ其問題ハ第二項ノ問題ニアラズ  
シテ寧ロ第六條ニ屬スル所ノ問題デアリマスルガ、若シ地上權ト、ソレカラ立木ト云フモ  
ノガ別々ニ處分セラル、ト云フ場合ヲ想像スルト、唯立木ノ無所ノ地上權ハ空ノヤウ  
ナ權利デアル、立木ハ其所有者ハ何ノ爲ニ地上權ナシニ有ジテ居ルカ趣意ガ分ラヌト云フ  
御議論ハ、即チ其御議論ニ依ツテ之ヲ削レタト云フ所ノ私ハ理由ニ乏シヤウニ思フ  
ノデアリマス、ソレカラ其處分ト云フコトハ必シモ賣買ト云フコトニ無論限ラレタコトデハ  
ナカラウ、若シ地上權ナラ地上權ト云フモノガ獨立ノ處分ヲセラレタ場合ニ其地上權が  
或ハ競賣ニ付セラル、トカ、其他民事訴訟法ニ依ル所ノ處分ニアック場合ニ於テ宜ガラウカト思  
フ、又既ニ獨立ノ處分ヲスルト云フコトヲ原則トシテ認ムル以上ハ地上權ニ付イテハ地上  
權ノ處分ヲシマセウ、又地上權ノ處分ニ付イテ不動產登記法ニ依ツテ登記ヲスルノデア  
ル、立木ノ處分ニ付イテハ矢張リ立木登記簿ニ登記ヲスルノデアル、登記所ニ在ヅテモ  
矢張リ是ハ地上權が處分セラレタノデアル、或ハ地上權立木共ニ處分セラレタノデア  
ル、或ハ立木ダケガ處分セラレタノデアルト云フコトハ是ハ明ナル證據ヲ得テ、之ニ依ツテ  
始メテ私ハ登記が出來ルモノデアラウト思ヒマス、若シ單ニ當事者ノ意思解釋ト云フコ  
トニ富井君ノ言ハレマシタヤウニナリマスト、地上權ダケノ處分ヲシタ、或ハ土地ノ所有  
權ダケノ處分ヲシテ、果シテ其立木ヲ處分スル意思デアツカドウカト云フコトが明確デナ  
イ場合が必ズ私ハ起テ來ルデアラウト思ヒマス、其明確デナイト云フ場合ニ於テハ立木  
ノ登記簿ノ登記ト云フコトが色ニ争ヒノ問題ナツテ、登記ヲ爲シ而カモ此第二者ニ對ス  
ル權利、當事者ノ權利ヲ確實ニスルト云フ上ニ於テハ甚ダ不便ヲ來タスデアラウト私ハ  
信ズルノデアリマス而シテ之ヲ削ヅタ結果ハ解釋上ドウナルカト言ヒマスト、矢張リ私ハ土  
地ノ所有權ヲ處分シテモ立木ニ及バヌ、地上權ヲ處分シテモ立木ニ及バヌト云フコトノ解  
釋ニナラウト思フ、此點ニ於テハ丁度富井君トハ反對ニナル、富井君ハ之ヲ削レバ當事  
者ノ意思ノ解釋ニ依ツテ地上權ヲ處分シ所有權ヲ處分シ立木ニ及ブト云フコトデアルヤ  
ウアル、既ニ別個ノ不動產アルト云フ原則ヲ取ツタ以上ハ、ドウシテモ私ハ別々ニナル  
デアラウト思フ、更ニ實際ノ利害トシテ考ヘテ見マシタ所ガ、元來此法律ニ依ツテ謂ハユル  
樹木ノ集團ヲ登記スル以上ハ其立木ダケノ處分ヲスルト云フコトハ主ナル目的デアル、或  
ハ土地ト立木トヲ合セテシテ賣渡ストカ云フ場合デアルナラバ、此法律ノ恩恵ニ依ラヌデ  
意思ヲ明確ニ表示シタノデアルカラ、此場合ニ於テハ土地ハ土地、立木ハ立木ト云フ別  
ノ運命ニ從ハセント云フコトが立法ノ精神ニ適ツテ居ル、實際ノ利害カラ言ツテモ私ハ其  
君ノ言フヤウナ結果ニナル、既ニ登記ヲ爲ス以上ハ土地ト共ニ處分セヌト云フ獨立シタ

除論ニ敢テ反對ヲスルノデハアリマセヌ、私ハ却ツテ反対ノ解釋ヲ取ルノデアリマスカラ、其事柄ヲ明瞭ニスル爲ニ之ヲ存シテ置イタ方ガ宜シカラウト私ハ思フ  
○藤田四郎君 唯第三項ノコトニ付イテ御話ガアリマシテゴザイマスガ、私ドモ素人ノ解説イタシテ居リマスルノハ、登記シタル立木ト云フモノハ地上權ト土地所有權ト別デアルト云フコトハ無論此法律ノ精神デ、其所ニ立木ト書イテアルノハ皆登記シタル立木デアル、シテ見マスルト是ガ無クテモ矢張り地上權ノ處分モ土地所有權ノ處分モ立木ニ及バスト云フコトハ此文ガ無クテモ見エルヤウニ思ツテ居ルノデスガ、ソレハ如何デスカ、アリマシタラ、ハッキリ分リマセウケレドモ……

○政府委員(平沼駿一郎君) 此第二條ニ依リマシテ立木ヲ獨立ノ不動產ト看做シマスル以上ハ先刻岡野サンカラ御述ヘニナリマシタヤウニ、矢張リ別々ノ運命ニ從フト云ノガ當然ノ結果デアラウト信ジテ居ルノアリマス、ソレデゴザイマスカラ此第三項ハ假ニ削除ニナリマシテモ同ジ結果ニ相成ラウト考ヘテ居リマス、併シ先刻富井サンノ御述ヘニナリマスル所ニ依リマスルト云フト全ク此契約ニ依ル、當事者ノ意思ノ解釋論デアルト云フコトデアリマシタ、此點ハ餘ホド考ガ違ツテ參リマス、或ハ此法文ガ削ラレマスルト云フト解説論トシテ爭ヒノ生ズル餘地ガアラウト思フ、相成ルベクハサウ云フ解説ニ相違ノゴザイマセヌヤウニ明確ニ致シテ置キタイ考デアルノアリマス、ソレカラ加ヘテ申シテ置キマスガ、是ハ先刻岡野サンカラ御述ベナリマシタガ、實際土地ノ登記ヲスル場合ニハ此コトが明確ニナダテ居リマセヌト、色モノ不便ヲ生ズル虞ガアリマス、唯契約ノ文面ニハ土地ダケ賣渡ス、或ハ地上權ダケ賣渡スト書イテアリマシテ、其立木ハドウナルカト云フコトが明記シテアリマセヌ場合ニ、一體法律ノ結果ハドウナルノアカルカト云フコトが分リマセヌ、立木ニ付イテ登記ノ申請デモアリマシタ場合ニ、登記官ハドチラニ處分ヲシテ宜イカト云フコトニハ餘ホド迷フダラウト思フ、是等ノ實際ノ必要カラ考ヘマシテモ、成ルベクスウ云フ法律ニ於キマシテハ明確ニ致シテ置キタイ考デアリマス

○藤田四郎君 サウ致シマスト、此第三項ハ假ニ今度ハアリマシテ政府案ノ通りニナックテ居リマスル場合ニ、先日セチヨット御尋ネシタノアリマスガ、土地ノ登記簿ニ立木ノクスウ云フ修正意見ヲ提出イタルカラ、他日所有權又ハ地上權ノ處分ヲシテ立木ノ登記ガアルト云フコトハ書イテアルカラ、登記ノアルヤツハ別デアルト云フコトハ第三者ノ買入レル所ノ著ハ登記簿サヘ見レバ能ク分譯ニナダテ居マスカラ、間違が起ルコトハゴザイマセヌカ

○政府委員(平沼駿一郎君) 其通りデゴザイマス

○岡野敬次郎君 唯今ノ問題ノ何レニカ決定シタ後ト思ツテ居リマシタガ、本法ノ第一項中「一箇ノ」ト云フ三字ヲ削除シタイト云フ修正意見ヲ提出イタシタノアリマス、此「一箇ノ」ト云フコトハ如何ナル意味ガアリテ之ヲ必要トスルカト申シマスト、詰リ樹木ノ集團が即チ不動產アルト云フコトノ意味ヲ言現ハスヨリ外ニハ何ニモ無イノデ、之ヲ削ルト云フト或ハ一本一本ノ樹木が不動產ニナルト云フヤウナ疑ニガアルカモ知レスカラ、此文字ヲ必要トスルト云フ趣旨デアルサウデアリマス、併ナガラ既ニ第一條ニ依テ樹木ノ集團ト云フコトヲ言現ハシテ居ル以上ハ、決シテ「一箇ノ」ト云フ文字ヲ削リマシタ所デ、之が爲ニ一本一本ノ樹木が不動產ナリト解釋サレル虞レハ斷シテ私ハ無イト思フ、

モ、是ハ寧ロ疑ヒヲ起スノ種デアルト私ハ思フノアリマスカラ削リタイノデアリマス、是ハ先刻私ニ政府委員ノ意見ヲ御尋ネシテ見マシタ所ガ鐵道財團ト云フモノガ一箇ノ不動產トナダテ居ル、ソレニ真似タノデアルト云フコトデアツガ、鐵道財團ト云フノト立木ヲ

不動產ト看做スト云フノトハ餘ホド意味ガ違フノデアリマス、鐵道財團ハ御承知ノ如ク不可分ノモノトシテ處分スルト云フ財產、一箇ノ不可分ノ財產トシテ處分スルト云フコトガ必要ナルノアリマス、所ガ此立木ノ方ハ不可分ノモノトスルト云フノハ却ツテ此法團ト云フヤウナモノ、或ハ鐵道財團ト云フヤウナモノニ真似ルト云フコトハ甚ダ適當デナイト思ヒマスカラ有ツテ益ナク、寧ロ害アルモノト思ヒマスカラ、此「一箇ノ」ト云フニ二字ヲ削リタイト思フノデ修正意見ヲ提出スルノデゴザイマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス○谷森眞男君 唯今岡野君ヨリ出マシタ「一箇ノ」ト云フニ二字ヲ削ルト云フ修正說ニハ私ハ贊成ヲ致シマス

○藤田四郎君 私モ贊成イタシマス

○政府委員(平沼駿一郎君) 有リマシテモ無クテモ同ジ意味ニナリマスカラ多數ノ御贊成ガアリマスレバ異議ハゴザイマセヌ

○藤田四郎君 第二條ハ一項ダケ決了シテ、アトハ跡回シニ願ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 岡野君ノ修正說ニ御同意ノ諸君ハ御手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 多數ゴザイマス

○男爵武井守正君 富井君が唯今居ラレマセヌカラ第三條ニ御進ミニナラムコトヲ希望シマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 岡野君ノ修正說ニ御同意ノ諸君ハ御手ヲ御舉ゲ下

望イタシマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ二條カラ五條マデヲ問題ニ致シマス

○岡野敬次郎君 私ハ四條ノ二項ニ付イテ修正ノ意味ヲ述ベタイト思ヒマス、先日

前會デ私ガチヨット質問ヲ致シタコトアリマスガ、此立木中ノ一部分タル樹木が或ハ倒レタカ、或ハ盜伐等ニ依テ第二條ニ依ラズシテ土地カラ分離セラレタ場合ニ其樹木ハ尙ホ抵當權ノ目的トシテ抵當權者ガ其權利ヲコレノ上ニ行フコトヲ得ルト云フコトガ一項ニ於テ定マシテ居ルノテアリマス、ソコテ抵當權者ハ其樹木ノ競賣ヲスルコトが出來ルト云フコトニナダテ居リマスケレドモ、若シ其競賣ガ或ハ面倒デアルトカ或ハ容易ク行ハレナイトカ云フヤウナ場合ニアツカ抵當權者モ甚ダ面倒デアル、而シテ此立木ノ所有者が其倒レタ木ヲ處分セムトスルト抵當權者ハ忽チ其權利ヲ行フゾト云フコトヲ言フ、其倒レタ木ヲ處分セムトスルト抵當權者ハ忽チ其權利ヲ行フゾト云フコトヲ言フ、所有者ハ何レノ時ニ於テ抵當權者ガ權利ヲ行シテ來ルヤラ測リ知ルコトが出來ナイ、ウツ

カリ處分スルト抵當權ノ目的物ヲ處分シタト云フ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、サウ云ツア何レノ時ニ其權利ヲ行シテ來ルカ分カラムカラ、意思ノ明確デナイ間ハ打ヤツテ置カナケレバナラヌ結果ニナルト私ハ思フ、ソコテ抵當權者ノ側カラ云フト、餘リ值打ノ無イモノモアルカモ知レマセヌ、併ナガラ立木ノ所有者ノ側カラ言ヘバ何トカ早ク處分セヌト困ルト思フ、而カモ抵當權者ト立木ノ所有者タル債務者トノ間ノ事情ノ如何ニ由ツテハ一ソ立木ノ所有者ヲ困ラシテヤラウト云フノデ抵當權者ガ權利ヲ行ハス、競賣ヲ行ハス、ソレヲ所有者ガ處分スルト忽チ其權利ヲ行フト云フコトニナルト所有者ハ甚ダ迷惑スルコトニナル、ソレモ抵當權者ニ取シテ價值ガアレバ宜シイガ、サウデハ無ク唯意地惡ルニ權利ヲ行フ場合ガ無イトモ限ラスト思ヒマスカラ、ソレデ斯ウ云フ趣意ニシタラバ雙方ノ調和が現ハレハセスカ、即チ債務者ハ抵當權者ニ對シテ其樹木ニ付イテ尙ホ權利ヲ行フカドウカト云フコトノ照會ヲシテ或ル期間内ニ返事ヲスベキコトヲ催告ヲスル、サウシテ其催告ニ對シテ異議ガアルト云フナラバ、此第二項ノヤウナ趣意ニ依ル、ソレカラ異議ガ無イ何モ催告ニ對シテ異議ヲ言ツテ來ナインラバ債務者ハ樹木ヲ處分ヲスルコトが出来ルト云フコトニナタナラバ、雙方ノ爲ニ便宜デアラウカト思フ、私ハエライ經濟問題トンテ云フ譯デハアリマセヌカ、併ナガラ詰リ樹木ノ處分セラレザルモノガ横ハシテ居ルト云フコトハ經濟上モ不利デアラウト思ヒマスカラ、其間ニ債權者債務者ノ利害ヲ調和スルノ策ヲ立テラレタナラバ便宜デアラウカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ修正ヲシタイト云フ希望デアリマス

○子爵前田利定君 贊成  
○藤田四郎君 唯今岡野サンノ言ハレルコトハ至極必要ナコト、思ハレマスガ、大體是ノコトニ付キマシテハ何カ他ノ法律ナリ又ハ此法律ノ施行上、何レ省令等モ出マスコトデアリマセウガ、ソレ等ニ付イテ順序ノ付ケラレルコトハ出來マセヌカ、一應委シク御説明ヲ願ヒマス  
○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今岡野サンカラ御述ベニナリマシタ趣旨ヲ認マスニハ、ドウシテモ法律ニ書イテ置キマセヌト細則等デハ定メニクイコトデアラウト思ヒマス、若シサウ云フコトニ相成リマスレバ第四條ニ一項ヲ加ヘル必要ガ起ツテ參リマス、其實質ニ付キマシテハ至極尤アリマス、異議ハアリマセヌ、書キ方ニ付キマシテハ色々文例モアラウト思ヒマス

○岡野敬次郎君 御参考マデニチヨツト文字ニ付イテ……斯ウ云フ趣意デアッタラ宜シカラウト思フ、詰リ立木ノ所有者タル債務者ハ抵當權者ニ對シテ一箇月以上ノ期間内ニ其ノ權利ヲ行フヘキヤ否ヤラ確答スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若シ抵當權者カ其ノ期間内ニ確答ヲ發セサルトキハ其ノ樹木ニ付其ノ權利ヲ拋棄シタルモノト看做ス」、斯ウ云フヤウナマア意味デスナ、文字ハ悪ルイカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ意味テス

○男爵武井守正君 岡野君ノ修正説ハ極ク贊成デスガ、法文ヲ今茲デ即席ニ持ヘルト云フコトハ、チヨツト面倒ナコトダト思ヒマスカラ、其趣意ヲ贊成イタシマシテ、其法文

ハアトデ出來ルコトヲ希望シマス、サウシテソレヲ殘シテ六條ニ御進ミニナルコトヲ希望シマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 大體今ノヤウナコトニ致シマシテ、ドウガ岡野君ト政府委員ト御相談クダスツテ、御出シ下サルコトヲ……後ホド矢張リ今日ノ中ニドウゾ……

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ此次ハ六條七條ヲ問題ニ供シマス

○岡野敬次郎君 先づ此六條ニ付キマシテハ、前會ニ私ノ希望ト致シマシテハ、地上

權ノ存續期間ノ表ヲ見シタ所ガ、百八十年トカ云フノガ兔ニ角、數ニ於テハ餘ホド有

ルヤウデアリマス、立木一代ト云フモノ、外ニ八十年、百年、百二十年以上ト云フヤウナ

ノモ有ルヤウデアリマスカラ、サウシマスルト立木ノ伐採期間ヨリモ地上權ノ存續期間ノ

方ガ長ニ場合モアリマスルカラ、サウ云フ實例ガアル以上ハ、第六條ハ已ムヲ得ズ私ハ此

儘ニ致シテ置イテ差支アルマイカト思フノデアリマス、如何ニモ「賃貸借ヲ爲シタルモノト

看做ス」ト云フノハ非常ナ拘ヘ事デ、趣意ニ於テハ頗ル感服イタシマセヌケレドモ、私ハ已

ムヲ得ズ之ニ贊成シマス、而シテ第七條ハ私ハ實際必要ノ無イコトデアリマスルカラ、是

ハ削除シタ方が宜シカラウト思フ、現ニ先刻ノ表ニ依リマシテ短イ期間ノハ、十年位ノモ

ノデスラ既ニ地上權デアルノデアシテ、賃貸借ト云フコトハ無イ、賃貸借ノ必要ガ或ハ無イ

ノカモ知レマセヌガ、賃貸借ト云フハ立木ノ爲ニハ事實無ノイデアリマスル、成ルホド机ノ

上テ想像シマスレバ、七條ノ如キ場合モ有リ得ルコトデアリマセウ、ケレドモ想像ダケデ頓

ト事實ニ必要ノナイコトデアリマスカラ、私ハ此七條ハ削除シタ方が宜シカラウ、然モ此立木ヲ所有スル、而シテ其立木が伐採期間ノ來ルマデト言ヘバ、此賃貸借ノ期間トシ

テ民法ニ定メテアル所ノ二十年ヨリハ長ノアリマス、ソレハ十年ト云フ地上權モアル

カモ知レマセヌ、併ナガラ十年ニシテ既ニ地上權トシテアルノデアリマス、民法ノ許シテ居ル最長期ノ賃貸借ト云フモノハ、蓋シ是ハ事實ニ於テ私ハアルマイト思ヒマスカラ、是ハ

實用ノ無イコトデアル、故ニ是ハ削除シタノデアリマス、地上權ノ存續期間内ニ賃貸借

借ヲ爲シタルモノト看做スト云ツテモ、地上權ノ恐ロシイ長ノアリマスカラ、ソレハ理由

ノアルコト、思ヒマスガ、此法律ニ於テ今日ノ賃貸借ハ民法上ドウデアルカト云ヘバ、則

チ二十年以内ニナツテ居ルノデアリマス、二十年以内ノ賃貸借ニ付イテ斯ノ如キ規定ヲ

設クルノ實用ハ全ク無イト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 唯今ノ岡野サンノ削除ノ御説ニ對シテ、チヨツト意見ヲ述べテ置キタイノデアリマス、仰セノ通り賃貸借ニ付キマシテ必要ノアリマスル場合ハ極ク少ナカラウト思フノデアリマス、ケレドモ此六條ノ賃貸借ダケハ是ハマア此法律ニ據リマシテ新ニ出來マス一種ノ賃貸借デアリマスカラ、此分ダケニ付キマシテハ少クモ必要ガアルノデアリマス、即チ六條ノ末項ニアリマス通り民法第六百四條及第六百十二條ノ規定ヲ定ハ第一項ノ賃貸借ニ之ヲ適用シナイトアリマスカラ、此分デアリマスルト、二十年ヨリズット長ノイガ出來マス、實ハ此六條ノ賃貸借ハ地上權ト同ジモノニラウト思ヒマ

ス、岡野サンノ御話ノ地上権ダケニ付イテ必要デアルト云コトハ御尤デアリマスルガ、六條ノ一種ノ賃貸借が此法律テ認メラレルヤウニナリマスト、ドウモ七條ノ必要ハ當然起ツテ參ラウカト考ヘルノデ、甚ダイヤナ規定デアリマスルケレドモ、據ロナク此法案ニハ此規定ヲ置イタ譯デアリマス、其邊ハ篤ト御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡野敬次郎君 成ルホド此六條ノ規定ノ結果デ賃貸借ハ出來ルコトニナリマスガ、併ナガラ第七條ヲ見マスト、其土地ノ賃借人ニ屬スル立木ガ又抵當權ノ目的物ニナッタト云フ場合ニ過ギナイ、即チ其賃貸借ノ結果ヲ七條ニ嵌メテ見ルト、サウシテ見ルト六條ノ規定ニ於テ先づ地上権者ガ立木ノ所有者トナツテ居ズテ、サウシテ立木ダケヲ抵當權ノ目的ニシタト、所ガ抵當權執行ノ結果デ競賣ニナツテ、其立木が他人ニ移轉シタ、サウシテ其者ハ即チ賃借人トナツテ立木ノ所有者トナツタ、其賃借人が又立木ダケヲ處分シテ其結果デ他人ニ又契約シタト、斯ウ云フ場合デナケレバ此六條ト七條トガ附イテ、此七條ノ必要ヲ見ル場合ハ私ハ無カラウト思フ、而シテ其場合ニ真ニ七條が適用セラル、ノハ、無論適用セラル、デアリマセウケレドモ、併シ地上権ノ存續期間内ニ於テ其ノ土地ノ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做スト云シテ、是ハ賃貸借ノ存續期間ハ自ラワレニ依ツテ定マルコトニナル、サウスルト今度又其競賣シタ立木ヲ再び競賣シタ場合ノ存續期間上云フモノハ決メラレテ居ル、再ビ競落シタ爲ニ再ビ此存續期間ヲ決メル必要ハナイト思フ、此文字カラ言ヘハ格別、理窟デハ六條カラ七條ニ移リ得ルコトハ認メマスケレドモ、併ナガラ此七條ハ獨立ニ場合ニ這入ルヤウナ形デ出來テ居ルト思フ、デアルカラ獨立ニヤルト云フ場合ナラバ私ハ必要ハアルマイト思フ、又六條ニ基イテヤルナラバ餘リ先キカラ先キノコトマテ見タ話ア是ハ私ハ實際ニ必要ハナイト思ヒマス、サウシテ此六條ノ規定ニ依ツテ得ル所ノ賃借人ニ此七條ヲ準用スルコトハ餘ホド形ニ於テモ面白クナイト思フノデアリマスカラ、矢張リ私ハ削除シタ方が宜カラウト思ヒマス

○藤田四郎君 矢張リ此七條ニ前條ニ規定トゴザンスルモノヲ當嵌タルノデアリマスガ、大體六條ノ地上権存續期間ノ賃貸借ヲ認メルト云フ方ノモノガアッテ來ル場合ガ重モナノデゴザンセウカ、又別ニソレデナシ離レテ所有者ノ承諾ヲ經テ賃借ヲスル場合ヲ言フノデスカ

○政府委員(平沼駿一郎君) 此第七條ノ規定ハ詰リ六條同ジ趣意ニナリマスノデ、例ヲ舉ゲテ御話ヲ致シマスルト、六條ニ依リマシテ競落人が賃借人ニナリマス、是ハ或ハ八十年ノ賃借權ニナリマスカ、何年ニナリマスカ大分長イモノガ出來ル、其人ハ立木ノ所有者デアリマシテ同時ニ賃借人ニナル、其人ガ又抵當ニ入レタイト云フ場合、其場合ニ抵當ニ入レマシテモ他ノ人ニ競落スル、今度ノ競落人モ亦賃借人ニナラナケレバナラヌノデアリマスカラ、ソレハ恰モ地上権者が立木ヲ質ニ入レマシテ、其競落人が賃借人ニナルト同ジヤウニ又其場合ニモ競落人が賃借人ニナル、斯ウ云フ結果ニナリマス、ドウモ此六條ヲ受ケマスルト、七條ノ規定ハドウモ無イト思ヒマス、其他ノ賃借ノ場合ハ是ハ岡野サンノ仰シヤル通り極ク稀有ナ場合デアラウト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 別ニ御意見が無ケレバ岡野君ノ第七條削除説ニ付イテ決ヲ採リマスガ宜シウゴザイマスカ、……御賛成ノ御方ハ無イカラ、コレハ否定サレマシタ、次ハ第八條ヨリ第十一條マテヲ問題ニ供シマス、御質問モ御意見モゴザイマセヌカ

○藤田四郎君 ゴザイマセヌ  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ十二條以下二十一條マテ附則モ一括シテ問題ニ供シマス、十二條以下ハ原案通りデ宜シウゴザイマスカ

(速記中止)  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 先刻ノ第四條ノ修正案ノ文章が出來マシタノデ其コトヲ申上ゲテ置キマス、第四條ニ第四項トシテ此一項ヲ加ヘタイノデアリマス、「樹木ノ所有者ハ抵當權者ニ對シテ一箇月以上ノ期間ヲ定メ競賣ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若抵當權者カ其期間内ニ競賣ヲ爲サルトキハ其樹木ニ付キ抵當權ヲ行フコトヲ得ス」若シ斯ノ如ク修正セラレマシタナラバ先刻ノ修正ノ趣意ハ達セラレルヤウニ思フノデアリマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 唯今ノ岡野君ノ修正ヲ第四項ニ入レルコトニ付イテ御異議ゴザイマセヌカ  
(二異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ左様ナリマシタ、ソレカラ此第二條ニ富井君ノ削減説ガアリマスガ、之ニ付イテ直チニ採決シテ宜シウゴザイマスカ

○富井政章君 タゞ一言附加ヘタイノデス、私が先刻申シマシタコトニ付イテ少シク誤解が生ズルカモ知レマセヌカラ一言附加ヘテ置キタイト思フ、土地又ハ地上権ヲ處分シタ場合ニ、多クノ場合ニ於テハ立木モ共ニ處分セラレルト申シタノデアリマスガ、ソレハ何所マテモ其通りト信シマスガ、其場合ニ賣買ガニツアルノデナイ、處分ガニツアルノデナイ、矢張リ土地ノ處分ト云フ中ニ其土地ノ所有者ニ屬スル所ノ立木ノ所有權モ移轉スルノデアルト申シマシタ、ソレハ私ハ何所マテモサウ信ズルノデアリマスケレドモ、其點ニ付イテハ反對説ガアルカモ知レマセヌ併シ其問題ハドチラモ宜イノデアリマス、ドチラニ説明シテモ宜イノデアリマス、少シモ此條ヲ削除スルセナニニ關係ハ無イノデアリマス、ドチラニシタ所が假令土地處分ノ行爲デアルトシタ所が多クノ場合ニ於テハ立木モ共ニ處分セラルト解説シナケレバナラヌ、詰リ当事者ノ意志ニ依ルコトデ、此點ニ於テ、建物ノ方ニモ無イヤウナ規定ヲハ立木ニ付イテ置クト云コトハ如何ニモ理由ノ無イコトト思ヒマスカラ、是ハ何所マテモ削除ニナツタ方が宜カラウト思ヒマス

○政府委員(平沼駿一郎君) チヨット一言、富井サンノ削除ノ御意見ニ對シテ先刻申シマシタコトヲ補足シテ述べテ置キタノデアリマスガ、此民法ノ解釋論ニ就キマシテハ色々御意見ガゴザイマセウガ、此事ハ姑ブク措キマシテ、實際ノ問題ト致シマシテ、此條ハ矢張リ置キマシタ方が色々争フ避ケマスル爲ニ便利デアルト云フ考デアリマス、即チ此法律ニ據リマシテ土地ノ登記ト立木ノ登記ハ別ノ簿冊ニ記入イタスコトニ相成ツテ居リマスノテ、實際立木ノ賣買、或ハ抵當權ノ設定等ガアリマスルト、是ハマア立木ノ方ニ登記イタスノデアリマスシ、土地ハ土地ノ方ニ登記イタスコトニ相成ルノデアリマス、茲ニ土地ノ賣買又ハ土地ニ付イテ抵當權ノ設定ガゴザイマシタ場合ニ、所有權ノ移轉、地上權ニ付イテモ同様ト思ヒマスガ、何レ賣買證書等ニ依リマシテヲ證明セラレテ、

之ニ依ツテ登記ヲ致スコトニナルデアリマセウガ、其場合ニ土地ニ存在シテ居ル立木ニ付イテモ矢張リ賣買、ガタモノデアルカ、ドウカト云フコトニ付キマシテハ始終疑ヒガ起ルニアラウト思ヒマス、若シ立木モ共ニ處分セラレタモノデアリマスレバ、其證書ニ依ツテ土地ノ登記簿ニ登記ヲ致スト同時ニ立木ノ登記簿ニモ登記ヲシナケレバナラヌコトニナリマスルシ、又反對ノ解釋ニナレバ立木ノ登記簿ニハ登記ヲセヌコトニナラナケレバナラヌノデアリマス、其場合ニ於キマシテ、法律ノ明文ニ依ツテ明カリナツテ居リマセヌト、實ハ登記ヲ取扱フ官吏ガ餘水ド困リマス、隨分其間ニ紛争が生ジマシテ、之ニ如何ニ處分スルカト云フコトニ迷フ場合モ生ジテ參ラウト思ハレルノデアリマス、デ斯ノ如キ特別ノ必要ガアツテ設ケマスル法律ノコトデアリマスカラ、斯ノ如キ爭ノ生シ又避ケマスル方ガ立法上宜シキヲ得タルモノデハナカラウカト考ヘルノデアリマスカラ、民法ノ解釋論等ヨリ致シマシテ多少此三項ノ規定ニ付キマシテハ御異論ノ出マスルコトハ御尤モニハ考ヘマスルガ、政府ノ希望ト致シマシテハ成ルベク之ヲ存置セラレテ、唯今申述ベマシタヤウナ結果ヲ避ケタイト云フ考ヘテアリマス、此コトヲ一言加ヘテ置キマス

○富井政章君 私ハモウ意見ハ述ベマセヌ、政府委員カラ縷々述ベラレマシタコトハ建物ニ付イテモ全ク同一デアッテ、少シモ異ナル所ハ無イト思ツテ居リマス  
○岡野敬次郎君 私ハチヨウト速記ヲ止メテ富井サンニ御相談ヲ致シ、尙ホ政府委員ノ意見モ伺ヒタイト思ヒマス  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ速記ヲ止メテ下サイ

## (速記中止)

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 諸君唯今ノ富井君ニ二條三項ヲ削除スルニ付イテノ決ヲ採リマスガ御同意ノ諸君ハ御手ヲ御舉グ下サイ

## 舉手者 少數

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 少數デ消滅シマス、原案通り、是デ此案ハ決シマシタ、委員會ハ終リマス

午後三時二十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君  
子爵前田 利定君 子爵松平 親信君 男爵武井 守正君

谷森 真男君 藤田 四郎君 富井 政章君  
岡野敬次郎君

政府委員

司法次官 河村讓三郎君 司法省民刑局長 平沼騏一郎君  
司法省參事官 齋藤十一郎君 農商務省山林局長 上山滿之進君